



## 面接週間を通して、自分の進路の方向性を見つけ出そう!!

### 面談を上手に活用しよう!!

本校では、面接週間として、6月1日～10日まで担任と生徒の二者面談を行っています。担任と面談をしていく中で、自分ができること、自分のやりたいこと、自分がやらなければならないことが少しずつ明確になってくるはずです。この3つの事項の共通点が、自分の進路希望を決めていくものだと思ってください。

1・2年生は、面談の内容をふまえ、今後の進路選択の方向性を探り、次年度の選択科目をどうするかを考えていきましょう。

3年生は、進路希望先を決定する時期になってきています。自分の希望や考えていることなどを担任にきちんと説明できるようにしましょう。

一方で進路について、疑問を持ったり、よくわからなくて調べないといけない部分も出てきているはずです。疑問に思ったことや確認したいことは、インターネットで検索したり、図書室などを利用して進学関係の雑誌や書籍を読むなど、自分自身で詳しく調べていくことが大切です。



### 自己理解を深めよう!!

自分らしさを見つけ出すことが、自分のアピールポイントを探し出すことにつながります。希望する会社への履歴書や進学先への志望理由書・自己推薦書を書くにあたっては、自分の良さや考えを主張することが必要になってきます。そのためにも、以下の3つの点を通して、自己理解が深め、今までの自分や現在の自分、会社や学校へ入った後の将来の自分を適切に表現できるようにしましょう。

- ◎ 自分で周りの人より出来ると思っている”得意なこと “は何ですか。
- ◎ 一生懸命になって取り組んでいる”好きなこと “は何ですか。
- ◎ 生活していく中で自分が価値観として”大事にしていること “は何ですか。

今すぐに自分らしさを見つけることは、難しいと思いますが、友達や家族、学校の先生との対話を通して、自分を客観的に見つめ、自己理解を深め、自分の良さを周りの人に表現できるようにしましょう。

### 職業や企業調べ、学部・学科調べを進めていこう!!

就職を希望する仕事や会社について調べたり、進学を希望する学校の教育内容を調べることは、とても大切です。

よく調べもしないで就職や進学をすると、自分の考えていることと実際の状況が大きく違うといったミスマッチも起こりやすく、働くことや学ぶことに意欲がなくなり、早期の退職や退学につながりやすいものです。一度辞めてしまうと、次の就職や進学につなげることが大変難しくなるので、現在できることをして、自分が十分納得した上で進路先を決定していきましょう。

## ○ インターネットを活用しよう。

南会津町では、インターネットでみなみあいづオンライン就活支援事業を今年度も行っています。南会津エリアの地元企業への就職を考えている生徒は、地元企業の会社案内や仕事内容の動画も見ることができるので、企業調べや進路研究に活用しましょう。



動画等で扱っている社員紹介・インタビューは、社風や職場の雰囲気をつかむ手掛かりになります。また、企業理念や取り扱い製品・サービス、企業が求める人材像の説明などの基本情報もしっかり確認しておきましょう。

## ○ 求人票をみて、自分の希望と照らし合わせよう。

7月1日から求人票が公開されます。求人票には、働いている様子や将来を具体化できる大切な情報が載っています。記載された項目をよく見て、内容を理解し、企業情報と自分の希望を整理することが重要となります。「自分は仕事選びで何を重視するか」を考えながら、求人票の内容を理解していくことが、自分に合う企業選びの大切な点です。企業と自分の希望を照らし合わせるためにも、自分自身を知ることが大切です。高校時代に「頑張ったこと」、「熱中したこと」を振り返り、まとめることで、企業の求める人材像と照らし合わせてみましょう。

## ○ 似たような語句や職業、学部・学科の違いを知ろう。

企業や学校の進路研究を進めていくと、教科書に載っていない語句や職業名が出てきます。進路希望先を決定する際に、取得できる資格の有無など必要になる場合があるので、似たような語句でもしっかりと違いを理解しておきましょう。

# キャリア教育について

本校では、1年生では農林業体験、2年生では職場体験といった就業体験活動を行っています。体験活動における心構えや知っておきたいことを学ぶ農林業講話・職業人講話、体験活動のまとめをするレポート作成も行っています。これらはキャリア教育の一つとして扱われています。

キャリア教育とは、キャリア（経歴）を活かして、現在や将来を見据えることなどを主眼として行われる教育のことを示しています。望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身につけさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てることです。高校だけで行われているのではなく、児童や生徒の成長に応じて小学校や中学校でも行われています。

図に示されているのが、生徒に身につけてもらいたい能力になります。

- ◎ **人間関係形成能力**（**自他の理解能力**と**コミュニケーション能力**）…他者の個性を尊重し、自己の個性を発揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、協力・共同して物事に取り組む力。
- ◎ **情報活用能力**（**情報収集・探索能力**と**職業理解能力**）…学ぶこと・働くことの意義や役割およびその多様性を理解し、幅広く情報を活用して、自己の進路や生き方の選択に生かす力。
- ◎ **将来設計能力**（**役割把握・認識能力**と**計画実行能力**）…夢や希望を持って将来の生き方や生活を考え、社会の現実を踏まえながら、前向きに自己の将来を設計する力。
- ◎ **意志決定能力**（**選択能力**と**課題解決能力**）…自らの意志と責任でよりよい選択・決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取り組む力。

就業体験活動といったものばかりではなく、普段の学校生活の中にも、上記の4つの能力を育てていく要素はたくさんあります。ですから、毎日の授業、部活動といった学校生活を充実させることが、自分の能力を向上させることにつながっていると意識していきましょう。

「キャリア発達にかかわる諸能力（例）」  
(4領域8能力)

人間関係形成能力	自他の理解能力 コミュニケーション能力
情報活用能力	情報収集・探索能力 職業理解能力
将来設計能力	役割把握・認識能力 計画実行能力
意志決定能力	選択能力 課題解決能力

「基礎的・汎用的能力」

